

地震防災対策における減災目標策定に関するワーキンググループ 平成 28 年度報告

1 これまでの経緯

- 国は、「地震防災対策特別措置法」及び「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震の地震防災戦略」に基づき、都道府県に対し、減災の数値目標、達成時期、対策の内容を明示した「地域目標（減災目標）」（以下、「減災目標」という。）の設定を要請した。
- 道では、国の要請を受け、減災目標を設定するため、平成 24 年度から減災目標設定の基礎となる地震や津波の被害想定調査を行うとともに、平成 25 年 5 月、北海道防災会議地震火山対策部会地震専門委員会に地震防災対策における減災目標策定に関するワーキンググループ（以下、「減災WG」という。）を設置し、道が示す被害想定を検証並びに減災目標及び被害対策の検討・提言を依頼した。
- ワーキングでは、平成 25 年度から、減災目標設定の考え方についての意見交換をはじめ、道が算出した太平洋沿岸及び日本海沿岸の地震被害想定についての検証を行ってきた。

2 平成 28 年度における活動

(1) 宗谷・オホーツク地域の地震被害想定の見直し

- 平成 25 年度から平成 27 年度にかけて、道において算出した太平洋沿岸及び日本海沿岸の地震被害想定に続き、オホーツク海沿岸の地震被害想定が算出されたことから、算出結果についての検証を行った。

公表年度	管内	被害が最大となる地震 (冬期の早朝5時)	人的被害（人）		建物被害（棟）	
			死者	重軽傷者	全壊	半壊
平成 25 年度	十勝	十勝平野断層帯主部の地震 (M7.4)	67	1,363	3,309	7,836
	釧路	十勝沖の地震 (M8.2)	19	671	544	2,534
	根室	標津断層帯の地震 (M7.1)	4	165	206	1,100
平成 26 年度	渡島	函館平野西縁断層帯の地震 (M6.6)	34	624	1,802	3,304
	胆振	石狩低地東縁断層帯南部の地震 (M7.2)	58	703	1,694	2,899
	日高	石狩低地東縁断層帯南部の地震 (M7.2)	8	195	477	1,145
平成 27 年度	檜山	北海道南西沖の地震 (M8.0)	18	284	749	1,784
	後志	北海道留萌沖の地震 (M7.8)	35	607	790	3,515
	石狩	月寒背斜に関する断層の地震 (M6.8)	967	18,473	22,544	42,176
	留萌	増毛山地東縁断層帯の地震 (M7.2)	24	423	972	2,294
平成 28 年度	宗谷	北海道北西沖の地震 (M7.8)	103	274	2,284	1,911
	オホ	標津断層帯の地震 (M7.1)	38	383	1,660	2,743

平成 29 年度には、内陸部（空知・上川）も含め、全道版の地震被害想定を公表予定。

(2) 市町村における地震・津波対策の支援・推進

- 市町村における津波避難計画の策定・改訂等を支援し、地震・津波対策を推進するため、希望する市町村に減災WG委員を専門家として派遣する「地震・津波対策推進に係る専門家派遣事業」を実施。

<p>※ 支援対象とした取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津波避難計画の新規策定（未策定の市町村） ・現行の津波避難計画の検証及び充実強化（策定済みの市町村） ・その他、地震・津波被害対策の推進に資すること <p>（例）建築物の耐震化の促進、土地利用や交通体系の見直し検討、避難行動の適正化、避難所配置計画、GIS等を活用したハザードマップ作成、家庭単位での防災対策等</p>

- 今年度は、下記の5市町村から応募があり、減災WGにおける議論を経て、全ての市町村を対象に次のとおり実施。（全ての市町村に道総研北方建築総合研究所研究員も同行（※1を除く））

市町村	実施日	減災WG委員
釧路市	H28. 8. 2(※1) H28. 11. 8	北海道大学大学院文学研究科 教授 橋本 雄一
紋別市	H28. 7. 5(※1) H28. 8. 10(※1)	北海道大学大学院文学研究科 教授 橋本 雄一
	H28. 12. 5 H29. 3. 11(予定)	北見工業大学 教授 高橋 清
神恵内村	H29. 1. 31～2. 1	北海道大学大学院工学研究院 教授 岡田 成幸
洞爺湖町	H28. 11. 30 H29. 3. 17(予定)	室蘭工業大学大学院工学研究科 准教授 有村 幹治
厚岸町	H28. 11. 9	北海道大学大学院文学研究科 教授 橋本 雄一

※1 橋本教授の大学における研究プロジェクトと共同で実施

- 各市町村から相談された次の内容に対し、アドバイス等を実施（予定を含む）。

市町村	アドバイス実施内容
釧路市	・釧路駅周辺及び避難困難地域の津波対策の検討
紋別市	・津波避難計画の新規策定 ・GISを活用したハザードマップ作成 ・住民向け地震・津波に関する講演会の開催（予定）
神恵内村	・新たな浸水想定に対応した避難方法、避難路、降雪対策等

	・住民向け地震・津波に関する講演会の開催
洞爺湖町	・津波避難計画の新規策定 ・効果的な津波避難訓練
厚岸町	・津波避難計画の新規策定 ・避難行動の最適化、避難路の設置や管理

3 今後の取組

(1) 市町村における地震・津波対策の支援・推進

- この度、日本海沿岸の津波浸水想定が公表されたことを踏まえ、関係市町村では津波避難計画等の改定が必要となることから、平成 29 年度においても「地震・津波対策推進に係る専門家派遣事業」を引き続き実施し、当WGとして、市町村の地震・津波対策を支援する。

(2) 全道域の減災目標及び被害対策（アクションプラン）の検討

- 国の「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震の地震防災戦略」（現行期間：平成 29 年度末）改定を踏まえながら、現在、道で進められている各地域の地震及び津波の被害想定がまとまったところで、全道域の減災目標並びに被害対策を検討する。

(参考) 減災WGの開催状況

	開催日	議事概要
第1回	平成25年5月14日	道の地域目標（減災目標）について意見交換、被害想定実施の目的など
第2回	平成25年6月5日	被害想定調査結果の公表や今後の検討に向けた意見交換など
第3回	平成25年12月6日	対策項目（施策）、中間報告書構成イメージ、今後の検討について意見交換など
第4回	平成26年2月13日	対策項目（施策）、中間報告書構成イメージ（地震被害想定結果「十勝・釧路・根室」）、今後の検討について意見交換など
第5回	平成27年1月29日	減災目標策定、北海道ならではの検討テーマ、地震被害想定結果「渡島・胆振・日高」について意見交換など
第6回	平成27年3月24日	道における関連計画の動き、北海道ならではの検討テーマ、今後の検討について意見交換など
第7回	平成27年8月11日	減災対策（アクションプラン）の考え方、地震被害結果「檜山、後志、石狩、留萌」について意見交換など
第8回	平成28年2月15日	地震被害結果「檜山、後志、石狩、留萌」、太平洋津波被害想定、今後の進め方について意見交換など
第9回	平成28年6月2日	地震被害想定結果「宗谷、オホーツク」、地震被害想定「全道版」、地震・津波対策推進に係る専門家派遣事業について意見交換など
第10回	平成29年1月25日	地震被害想定結果「宗谷、オホーツク」、地震・津波対策推進に係る専門家派遣事業の中間報告、今後の進め方について意見交換など